

仙台市観光復興対策実施計画 評価調書

別紙

都道府県名	仙台市	計画に包摂される市町村	仙台市					
計画期間	平成28年度～令和3年度	評価責任者	文化観光局観光交流部誘客戦略推進課 菅原 恭子					
計画の成果目標(定量的指標)		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	備考
指標①	外国人延べ宿泊者数(単位:万人)	12.0	13.8	20.0	23.6	28.0	8.3	
指標②	外国人旅行消費額(単位:億円)	49.0	56.2	77.3	94.3	115.0	61.7	
指標③								

1 定量的指標に関連する交付金事業の効果の発現状況		①仙台空港国際線の旅客数(H28年度 225,551人→H29年度 280,387人→H30年度311,377人→令和元年度379,178人→R2年度0人→R3年度2人) ②仙台駅観光情報センターの外国人利用者数(H28年 13,471人→H29年 14,517人→H30年 16,412人→令和元年 18,339人→R2年 4,055人→R3年 1,714人)					
2 定量的指標の達成状況	指標①	目標値	8.3	目標値の実現状況に関する評価	新型コロナウイルスの影響により海外との往来が制限されたことにより、令和3年の仙台市内における外国人延べ宿泊者数は18,306人となり、東日本大震災以降最も少ない数値となった。 外国人旅行消費額については、例年観光庁よりデータが公表されていたが、新型コロナウイルスの影響により訪日外国人数が大幅に減少したことにより、R3年の数値は公表されていない。		
		実績値	1.8				
	指標②	目標値	61.7				
		実績値	-				
	指標③	目標値					
		実績値					
3 事業の進捗状況	コロナ禍においてもWEB等を活用するなど手法を工夫しながら取り組み、各事業の成果指標を達成することができた。						
4 評価方法	仙台空港国際化利用促進協議会幹事団会議において外部関係者から本市インバウンド施策にかかる意見を聴取。KPIの達成状況に対するコメントは市独自評価による。						
5 評価の公表方法	市のホームページ及び担当課窓口にて公表する。						
6 計画全体の総合評価	東北観光復興対策交付金を活用し、他都市等と連携しながらインバウンド向けプロモーションや受入環境整備事業を一体的に実施することで、令和元年には外国人延べ宿泊者数や外国人旅行消費額がH28年以降最高となった。一方、新型コロナウイルスの影響により令和2～3年度は海外との往来が制限され実際のインバウンド客の誘致には至らなかったものの、オンラインを活用した海外向けイベントの実施や在日KOL等の招請など、デジタルを活用したプロモーション等を強化し、本市の知名度向上を図った。また、新たな観光コンテンツの磨き上げや、観光案内所、二次交通等の受入環境整備により、本市の魅力向上に取り組んだ。						
7 今後の方針等	海外との往来が段階的に緩和される中、安心・安全を基本とした新しい旅行需要への対応をPRしながら、引き続き各国・地域の特性に応じたプロモーションや、実際の誘客につながる旅行商品の販売、受入環境整備、コンテンツの磨き上げ等を進める。						